

## 『他者』に対する社会的排除と差別 少数派の視点から考えるアカデミアとメディアの役割と責任

Social exclusion and discrimination of "the other" in Japanese society  
The roles and responsibilities of academia and media seen from the perspectives of minorities

2014年**11**月**8**日(土) 10:00~18:00 (受付9:30~18:00)  
~**9**日(日) 10:00~18:00 (受付9:30~16:30)

会場：**コラッセふくしま**

主催：多文化関係学会・福島大学

後援：公益財団法人 福島県国際交流協会

<<http://www.worldvillage.org/>> (FIA)

基調講演 2014年11月9日(日) 13:00~14:00

**異文化間哲学における他者理解の課題**

**—歴史と文化のハイブリッド化現象と境界をめぐる—**

牧野英二(法政大学文学部教授)

パネルディスカッション① 11月8日(土) 13:20~15:20

**マイノリティと災害FM**

ファシリテーター：吉富志津代

パネリスト：

吉富志津代(大阪大学グローバルコラボレーションセンター)

日比野純一(FMわいわい代表理事)

吉田恵子(富岡町社会福祉協議会職員、富岡町生活復興支援「おだがいさまセンター」、おだがいさまFMラジオ)

伊藤チャリト(パヤニハン気仙沼ラジオ)

コーディネーター：中川慎二(関西学院大学教授)

パネルディスカッション② 11月9日(日) 14:15~16:15

**排除の構造と私たちの役割 —震災被災地とヘイトスピーチ—**

コメンテーター：牧野英二(法政大学教授)

パネリスト：

辛淑玉(しんすご)(TRAJ東京代表 のりこえねっとーWe shall overcome!—ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク共同代表)

五味洋治(東京新聞記者)

コーディネーター：李洙任(りーすーいむ)(龍谷大学教授)

オープンフォーラム 11月8日(土) 15:30~17:00

**福島で生活するとは？**

話題提供者：田村奈保子(福島大学行政政策学類教授)

ファシリテーター：小野原雅夫(福島大学人間発達文化学類教授)

プレコンファレンス 2014年**11**月**7**日(金) 14:00~17:00

**〈東日本大震災 被災地を訪ねるフィールドワーク〉**

**震災、津波、原発事故 —ふるさと回帰と菜の花プロジェクト—**

福島県南相馬市観光ボランティアガイドとして語り部活動をする安部あきこさんと共に、地震と津波の後の南相馬市を訪ね、被災地に暮らす方の声に耳を傾けます

大会問い合わせ先

福島大学行政政策学類 田村奈保子研究室 〒960-1296 福島市金谷川1番地 ☎: 024-548-8306

# 多文化関係学会第13回年次大会 プログラム

## プレコンファレンス 2014年11月7日(金) 13:45~16:45 〈東日本大震災 被災地を訪ねるフィールドワーク〉

- 10:00 集合：JR 仙台駅西口駐車場（チャーターバスで仙台から南相馬市に向かう方）  
 10:15 - 12:15 JR 仙台駅から道の駅南相馬へ移動  
 12:20 - 12:55 「安部さんと菜の花トーク」道の駅南相馬ホール（仙台からのチャーターバスが到着次第開始）  
 13:00 - 13:50 食事（弁当）、道の駅内レストラン  
 13:50 集合：道の駅駐車場 \* 福島市などから原町駅まで路線バス [1300円] で来られた方は、個別にタクシー等で道の駅まで移動。  
 14:00 - 17:00 南相馬市フィールドトリップ（集合次第出発）  
 17:00 - 17:15 休憩（道の駅）  
 17:30 - 19:30 道の駅からJR福島へ移動（福島駅西口バスロータリー）

コーディネータ：中川慎二（関西学院大学）

## パネルディスカッション① 2014年11月8日(土) 13:20~15:20 〈マイノリティと災害FM〉

1995年に発生した阪神淡路大震災の際、神戸市長田区にあった「カトリックたかとり教会」に「たかとり救援基地」ができ、それが後の「たかとりコミュニティセンター」になった。そこでFMラジオというメディアを使ったマイノリティ支援とエンパワーメントの活動が始まった。それが「FMわいわい」の始まりである。2011年に発生した東日本大震災では、30局の「FMラジオ」局が「災害エフエム」として設立され、FMわいわいは阪神淡路大震災以降に培った経験と知見を活かして「災害エフエム」の支援に取り組んだ。現在でも10局が放送を続けており、被災地のコミュニティ再生やマイノリティのエンパワーメントなどに大きな働きをしている。このパネルディスカッションでは、マイノリティのエンパワーメントにつながるFMラジオの活動と災害時のメディアの役割について議論する。

- パネラー（ファシリテーター：吉富志津代）：  
 ○吉富志津代（大阪大学グローバルコラボレーションセンター）：専門は国際協力政策、公共政策。たかとりコミュニティセンター常任理事でもあり、FMわいわいの立ち上げから、神戸をはじめとする外国人住民のサポートやエンパワーメントの活動を支援し、大学でもその知見を教育に生かしながらグローバル人材育成に取り組んでいる。著書には『グローバル社会のコミュニティ防災 多文化共生の先に』（大阪大学出版会）など多数。  
 ○日比野純一（FMわいわい代表理事）：阪神淡路大震災をきっかけにFMわいわいの立ち上げに参加し、東日本大震災の被災地でもさいがいのラジオ局の立ち上げやその後のサポートを行っている。また、海外でもコミュニティラジオを活用した被災地支援活動を展開している。共著に『小さなラジオ局とコミュニティの再生：3.11から962日の記録』（大隅書店）など。  
 ○吉田恵子（富岡町社会福祉協議会職員、富岡町生活復興支援「おだがいさまセンター」、おだがいさまFMラジオ）：大規模避難所となった「ビッグバレットふくしま」での支援活動からさいがいのラジオ「おだがいさまラジオ」を立ち上げ運営している。  
 ○伊藤チャリト（バヤニハン気仙沼ラジオ）：国際結婚し日本に在住するフィリピン人で、FMラジオによるさいがい支援とエンパワーメントの活動をしている。

コーディネータ：中川慎二（関西学院大学）

## 基調講演 2014年11月9日(日) 13:00~14:00 〈異文化間哲学における他者理解の課題〉

### —歴史と文化のハイブリッド化現象と境界をめぐる— 牧野英二（法政大学文学部教授）

講師プロフィール  
 専門領域は、近代及び現代哲学、倫理学、美学、感性学、精神史の研究。特にカント、デルタイ、ハイデガー等ドイツ哲学や哲学的解釈学、アレントの政治哲学、英米系の判断力論、和辻哲郎の倫理学、三木清の歴史哲学・構想力論、笑いや驚異など感情の感性工学的分析、サステナビリティフィロソフィー他。主たる研究業績は、（以下すべて単著）『カント純粋理性批判の研究』（法政大学出版局、1989年）。『遠近法主義の哲学』（弘文堂、1996年）。『カントを読む—ポストモダニズム以降の批判哲学』（岩波書店、2001年。韓国語訳2009年）。『崇高の哲学—情感豊かな理性の構築に向けて』（法政大学出版局、2007年）。『増補・和辻哲郎の書き込みを見よ！和辻倫理学の今日的意義』（法政大学出版局、2010年）。『「持続可能性の哲学」への道』（法政大学出版局、2013年）。学会活動は、日本カント協会会長、日本デルトアイ協会会長など。2011年5月から始まった「てつがくカフェ@福島」の世話役。

## パネルディスカッション② 2014年11月9日(日) 14:15~16:15 〈排除の構造と私たちの役割〉

### —震災被災地とヘイトスピーチ—

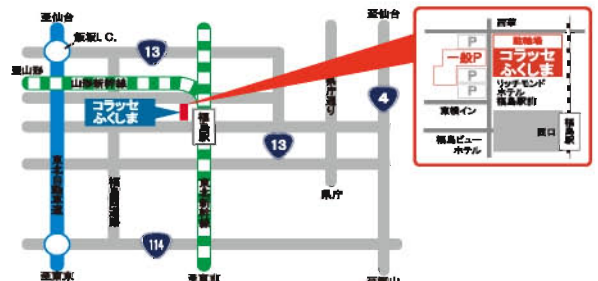
パネリスト：  
 辛淑玉（しんすこ）（実業家）プロフィール：在日三世。人材育成コンサルタント。TRAI (Trans-pacific Research and Action Institute for the hisabetu-nikkei) 東京代表。のりこえねっとー We shall overcome!—ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク共同代表。企業内研修、インストラクターの養成 などを行うかたわら、テレビ出演、執筆、講演も多数こなす。2003年に第15回多田諷子反権力人権賞受賞。著書に、『怒りの方法』『悪あがきのすすめ』（ともに岩波新書）、『差別と日本人』（角川テーマ21）、『大人の女の流儀』（PHP研究所）など多数。

五味洋治（東京新聞記者）東京新聞記者・『父・金正日と私、金正男独占告白』（文藝春秋）著者。1983年東京新聞（中日新聞東京本社）入社。川崎支局、社会部、政治部（官邸、野党担当）を経て1997年、韓国延世大学語学留学。1999年～2002年ソウル支局、2003～2006年中国総局勤務。2008～2009年、フラブライトフェローとして米・ジョージタウン大学在籍。主に北朝鮮問題を取材。現在東京新聞本社外報部勤務。著書に『あなたはなぜウリナラ（韓国）に来たんですか』（エクスマレッジ）、『父・金正日と私、金正男独占告白』文藝春秋、『オトす力～金正男の心を開かせた新聞記者の「知的仕事術」～』（ワニブックス PLUS 新書）、『北朝鮮と中国：打算でつながる同盟国は衝突するか』（ちくま新書）

コーディネーター：牧野英二（法政大学教授）  
 コーディネーター：李淳任（龍谷大学）

## 会場アクセス

- 福島県福島市三河南町1番20号  
 ●JR福島駅（東北新幹線、東北本線、奥羽本線）西口より徒歩3分  
 ●東北自動車道 福島西IC、飯坂ICから車で約15分  
 ●駐車場  
 ・コラッセふくしま有料駐車場利用可  
 （30分まで無料、以降30分毎100円※共通駐車サービス券が使用可能）  
 ・近隣に有料駐車場（民間）あり（30分100円～150円）  
 ●URL <http://www.utsukushima.net/>



お申し込み方法  
 多文化関係学会ホームページ (<http://www.js-mr.org/>) の第13回年次大会概要の下部にあります【大会参加の方法】欄にあります「大会さんのページから」のリンクより開きます「多文化関係学会 第13回年次大会・参加申込み」のページよりお申し込みください。

- |                        |                                     |
|------------------------|-------------------------------------|
| 大会参加費（事前申し込みは1,000円引き） | 懇親会参加費（事前申し込み500円割引）                |
| 5,000円（正会員・当日払い）       | 1,000円（福島県、宮城県、岩手県在住・非会員二日間で1,000円） |
| 3,000円（学生会員・当日払い）      | 4,000円（学生会員・当日払い）                   |
| 6,000円（非会員一般・当日払い）     | 4,000円（学生会員・当日払い）                   |
| 4,000円（非会員学生・当日払い）     | 6,000円（非会員一般・当日払い）                  |
|                        | 4,500円（非会員学生・当日払い）                  |
|                        | 福島大学関係者（学生も含む）無料                    |